



難ある人生を
卑屈になるのではなく
受け止め方を変える。
自分にとって
具体的に
不本意なことをしてくる存在を
師として
先生として受け止める。
受け止め方を変えることで
すばらしいものに
見えてくるんじゃないでしょうか。

女優 樹木希林

自分の人生のこれまでと現在と、そしてこれから思いを馳せるとき、どんな感情

が湧いてくるでしょうか？きつとどんな方であっても、「我が人生、順風満帆。悪い事は何一つない！」と言い切れる方は少ないのではないかと思います。しかし、この樹木希林さんの言葉は、どんな人生であっても、自分の受け止め方次第で、その意味は大きく変わること教えてくれます。

日々の歩みの中、自分の努力次第で、避けることができる不幸もたくさんあります。しかしその一方で、どうにも避けられない嫌な事もたくさんあるのが現実です。気の合わない人に出会う事、気乗りのしない出来事に着手しなければならぬこと、そして忍び寄る病・・・こうした自分の力を尽くして避けたくとも、向き合わなければならぬ物事をどう受け止めるかが、人生の味わいを大きく左右します。

酷暑の夏も、秋へと姿を変えつつあります。涼しさが感じられる夜、優しく鳴く虫の音に身をゆだねていると、「じたばたしてもしようがない」と、心身がゆるんできく感じがする時があります。

目の前にやって来るあらゆる物事は、必ず過ぎ去っていきます。これを仏教では「諸行無常」と表現していますね。私もあなたも、どんな物事も、すべては移ろい変化していくのが世の習いです。

さあ、今をどう生きましょうか。すべては私次第です。

『生きる力 vol. 122』送付

おなじみ真言宗智山派で発行しております冊子「生きる力 vol.122」をお届けします。ぜひ一読ください。
20ページの「仏事Q&A」は、皆さん

に馴染みのあるご法事のあれこれが書かれています。各先生方がその専門性を発揮しながらも、分かりやすさを重んじて寄稿されている季刊誌です。ぜひ気になったページからお読みになってみてください。

秋彼岸会 中日法要のご案内

恒例の秋彼岸会法要を海禅寺本堂にてお勤めいたします。檀信徒皆様のご先祖の冥福を祈り、ご一緒に手を合わせましょう。およそ40分ほどの集まりです。どうぞお気軽にお出かけください。（申込不要）

日程…令和7年9月23日（火・祝日）
時間…受付 午前10時～
法要 午前10時30分～

※お彼岸中日の午前中は、本堂前でお焼香していただけるよう準備をしています。

※法要終了後にお時間の許す方は、会議室でご歓談していただけますよう粗菓粗茶もご準備いたします。

※彼岸会法要の供養塔婆をご希望の方は、21日（日）夕刻までに電話またはファックスで、寺にお申し込みください。
◎供養塔婆料一基 3000円

※境内墓地をお持ちの方は、お寺においでにならなくとも供養塔婆を墓前に手向けさせていただけます。ご希望の方は、供養塔婆料を添えてお申し出下さい。

電話：0268-22-2972
Fax：0268-26-1147



新企画

秋の朝活 テラ掃除

秋の朝、皆さんで菩提寺である海禅寺のお掃除にご協力いただけませんか？

皆さんはお寺を参りするのに一番気持ちのよい時間はいつだと思いますか？

人それぞれかもしれませんが、私は「朝」が格別だと感じています。毎朝、開門してから本堂前にしばし佇んでいると、朝特有の静けさと共に新鮮な空気が優しく包み込んでくれ、何とも言えない清々しい気持ちになります。

さて、秋は落ち葉の季節です。海禅寺の境内地は墓地の樫の巨木をはじめ、たくさん木々が豊かに息づいています。綺麗な紅葉を見せてくれた後、毎年寺では大量の落ち葉掃除に追われています。この仕事を、朝の新鮮な空気を味わいながら、ぜひ有志の皆さんとご一緒にしたいと、ボランティアを募集いたします。

※人手が多く集まりましたら、窓ふき作業なども検討しております。

日程…令和7年11月15日（土）
時間…集合 午前7時50分
開始 午前8時～

↓約1時間半ほどの作業の後、お茶会をしたいと思います。
落ち葉焚きをして焼き芋を準備予定です。

持ち物…竹ぼうき、熊手、枯れ葉を入れるカゴ、選定ハサミ、のこぎりなど
お持ちの方はご持参ください。もちろん手ぶらでも結構です。

参加申込…お茶会準備の都合上、お電話等で寺にご一報いただけますと有り難いです。しかし急な飛び入り参加も大歓迎です！



第41回 人形供養会



毎年11月の勤労感謝の日に行っている人形供養会を今年も勤修いたします。今年も集まったお人形さんをすべてお飾りした上で、修験道の秘法・柴燈護摩供によって懇ろに供養をお勤めします。合わせて檀信徒の皆さまの、家内安全と心願成就も御祈念いたします。

お陰様で昨年は大きな節目の年を迎え、今年は41年目となります。供養するお人形がなくともご参拝いただけます。どうぞ皆様のお越しをお待ちしております。

日程… 令和7年11月23日（日・祝日）
時間… 「受付」 午前9時半～
「雅楽奉納演奏」 午前10時40分～
「人形供養法要」 午前11時～

〔供養人形の受付について〕

ご供養の申込みに際しまして、ご供養料をご志納ください。金額に決めはありませんが、お人形一体千円を目安とさせていただいております。またお人形をお持ちの際は、ガラスケースなどから取り出して、お人形さんのみをご持参ください。

尚、ぬいぐるみは、受け付けておりません。ただし特別なお事情が、ご相談ください。



供養の法煙と共に お人形の御魂は空へ還っていきます

お墓を考える



去る9月7日（日）、海禅寺本堂でお墓について考えるイベントがありました。副住職が副理事長をつとめるNPO法人新田の風が主催し、開催されたものです。企画時期の都合上、檀信徒の皆さんへ十分告知ができず大変に失礼いたしました。そこで当日の内容を共有させていただきます。企画の発端は、ある地域の皆さんとの語り合いの場で、「自分が高齢になったものの、今後、我が家のお墓を守る人がいない。困った！」という声が多数上がり、『墓じまい』や『永代供養』について知る会を開いて欲しいという声が多数あがったことに端を発します。

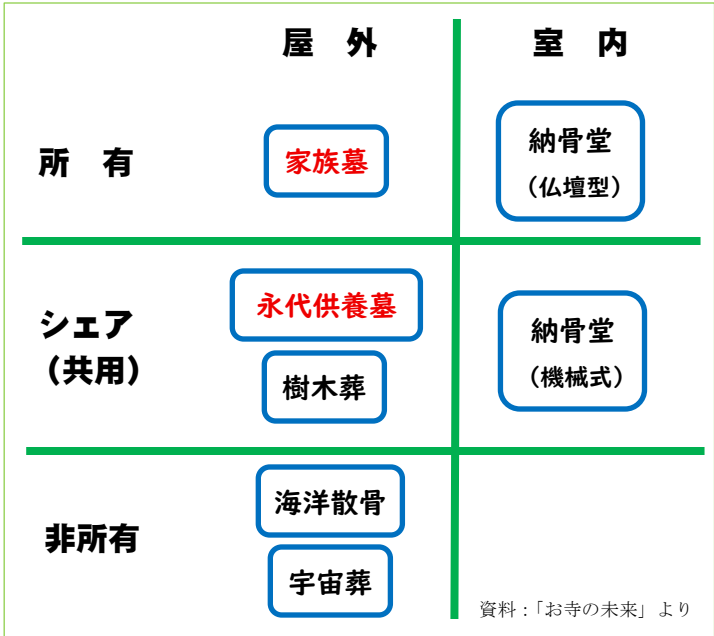
寺におりますと、境内墓地へ墓参をする皆さんの姿を拝見する機会が多くあります。例えば先日、ある故人様の御命日に合わせ、数人の方たちがお墓参りにやってきました。ふと見るとお花とお線香を手向け、手を合わせた後、その場で思い出話をしながら一時皆さんで缶ビールを飲んでおられました。きつと生前もよく皆さんで宴を開いて語り合った仲なのでしょう。お墓は、亡き方と再び会える場所ですね。

またお盆の時期には毎年一族揃って墓参される方々もおられます。たとえ少ない人数であっても、そうして近しい皆さんで墓参することは、ご先祖という命の連なりを通じて、今ある自分の命と、家族の調和を確認する場でもあるのでしょう。このようにお墓は、今はなき方々と、今を生きる私たちとの関係を繋ぎ続けてくれる存在です。

このお墓ですが、海禅寺の境内墓地でもここ数年で様々な動きがあります。ご縁あ

って新たにお檀家さんとなり、新しい一族のお墓を建てられた方々がおられます。私たち海禅寺のお仲間になってくださったこと、このご縁に菩提寺として改めて感謝申し上げます。また、新しくお檀家となったものの、あえてお墓はつくらず、海禅寺の永代供養堂『還源』へ納骨される方々もおられます。そして今後、お墓を守る方がおられないため、「墓じまい」をし、一族のご遺骨を『還源』へ「改葬」される方々もおられます。

よく調べる必要があります。また一時期「千の風になって」の歌が流行したところから注目を集めた「海洋散骨」も新しい選択です。これについて、様々な機会を担当してきた業者の方から語られた次のエピソードが印象的でした。それは、ある娘さんが、父親の遺言、「自分亡き後は、遺骨を多摩川に散骨して欲しい」という意思に従い、粉骨した御骨を多摩川へ散骨していた時の事。半分ほどが川へ流されていたその時、母親が「これからお父さんをお守りするその方法が多様化してきています。少し調べてみるだけでもお墓の形は多岐に渡ってきています。整理すると次のようになります。



この中で海禅寺において選択できるのは「家族墓」と「永代供養墓」です。また全国的に「樹木葬」が大人気なのだそうです。今、様々な業者が多様な樹木葬をつくり出し、売り出しています。ただしこちらは一時の流行ともなりかねず、よく

業者の方は、これまで様々な供養の場に立ち会ってこられた中で、家族間の思いがすれ違ってしまうことから発生する様々なトラブルにも出会ってきたのだそうです。一人一人の気持ちには決して悪意があるものではないものの、十分な話し合いを通じた合意形成の過程がなかったがために、いざこざへ発展するケースが多いとのこと。

このイベント当日は、世代を超えた様々な方々同士が語り合う時間がありました。その中で共通して上がった声は、「もっと知り、話し合うこと」の重要性でした。そして今回提供された情報や考え方はあくまで一部であり、これを始まりとして、正しい方と話し合うことを大切に、それぞれが自分で調べ深めていくことが大事。そして困った事態が起こる前に準備し、備えることが大切であるとまとめられました。皆さんのご家族、ご一族のお墓事情はいかがでしょう？ 備えあれば患いなし。ぜひこの機会に考え、話し合ってみてください。